

おじいさんのランプ

新美

南吉

かくれんぼで、倉の隅にもぐりこんだ東一君がランプを持って出て来た。

それは珍らしい形のランプであつた。八十センチぐらいの太い竹の筒が台になつていて、その上にちよっぱり火のともる部分があくついている、そしてほやは、細いガラスの筒であつた。

●書ける字はなぞりましょう。声に出して読みましょう。